

重点的対策実施 1 7 保護林における柵設置及び捕獲等の計画・実施状況等について

保護林名	保護林種	シカ被害レベル (平均)	生息密度 (頭数/k㎡) (R2年度末推定 値)	令和7年度 計画及び実施状況					備 考
				新たな柵設置		保護林周辺での捕獲計画		柵の補修等 の計画	植生保護柵の状況（R7現在）及び シカ捕獲実施機関に関する情報（R6実績）
				計画	実施状況	局署	県指定管理 鳥獣捕獲		
1 祖母山・傾 山・大崩山周 辺	森林生態 系保護地 域	3~4	34.1 (D2：豊後大野市南 部、 竹田市南部) 26.2 (D3：臼杵市南部、 津久見市、佐伯市西 部)	—	—	○	※ 市町村によ り有害捕獲 を実施	○	・ 植生保護柵設置状況：4,105m、25箇所（主に長方 形、大きさは様々） ・ 大分県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：県内分布の全域において3 頭数/k㎡ ・ R6大分署捕獲頭数 職員実行：21 請負：27 協定：775 ・ 宮崎県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡(保護優先地域) ・ 宮崎県指定管理鳥獣捕獲等事業：H29～継続 R6年度捕獲頭数（日之影・延岡地域） 目標頭数：85 捕獲実績：85 ・ R6宮崎北部署捕獲頭数 職員実行：0 請負：32 協定：1,092
2 白髪岳	生物群集 保護林	4	21.2 (八代・球磨地域 (あさぎり町含 む))	—	—	—	※ 市町村によ り有害捕獲 を実施	○	・ 植生保護柵設置状況：24,280m、245箇所（主に25m 四方） ・ 熊本県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護地域） ・ あさぎり町鳥獣被害防止計画（R5～R7） 目標頭数：R5 1,200 R6 1,200 捕獲実績：R5 1,078 R6 未公表 ・ 小林市鳥獣被害防止計画（R4～R6） 目標頭数：R4 2,600 R5 2,650 R6 2,700 捕獲実績：R5 2,404 R5 2,368 R6 未公表
3 鬼の目山	生物群集 保護林	3	18.5 (五ヶ瀬川以北)	— ※新たな柵設置 については、設 置箇所等を検討 中	—	—	○	○	・ 植生保護柵設置状況：6,417m、30箇所（国設置とポ ランティア設置の柵。25～50m四方の四角形を中心 に様々な形状） ・ 宮崎県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護優先地 域） ・ 宮崎県指定管理鳥獣捕獲等事業：H29～継続 R6年度捕獲頭数（日之影・延岡地域） 目標頭数：85 捕獲実績：85
4 霧島山	生物群集 保護林	3	31.0 (霧島山周辺) 15.5 (国見・霧島山地)	—	—	—	○	○	・ 植生保護柵設置状況：714m、7箇所（四角形、大き さは様々） ・ 鹿児島県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画 （R4～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（自然公園 等の保護地域） ・ 鹿児島県指定管理鳥獣捕獲等事業：H12～継続 各年度の目標捕獲頭数は管理計画に準ずるが、未公 表
5 英彦山モミ等 遺産資源	希少個体 群保護林	3	24.0 (大鳴・英彦山地域)	—	—	—	○	—	・ 植生保護柵設置状況：96m、2 箇所 ・ 福岡県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標：令和8年度末の農林産物被害額7千 万円以下 ・ 福岡県（耶馬日田英彦山国定公園）指定管理鳥獣捕 獲等事業実施計画（R6） 目標頭数：200 捕獲実績：212

注) 1 生息密度欄の記載は、最新（R4策定）の第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）に記載の数値及び地域。
2 計画及び実施欄の計画の『○』は、H31年度に決定した重点的対策実施17保護林における計画を表す。
3 「保護林周辺での捕獲計画」とは、ハンターマップ（5 kmメッシュ単位）で見た時に同じメッシュ内に捕獲計画があることを示す。

重点的対策実施 1 7 保護林における柵設置及び捕獲等の計画・実施状況等について

保護林名	保護林種	シカ被害レベル (平均)	生息密度 (頭数/k㎡) (R2年度末推定 値)	令和 7 年度 計画及び実施状況					備 考
				新たな柵設置		保護林周辺での捕獲計画		柵の補修等 の計画	植生保護柵の状況（R7現在）及び シカ捕獲実施機関に関する情報（R6実績）
				計画	実施状況	局署	県指定管理 鳥獣捕獲		
6 犬ヶ岳ブナ等 遺伝資源	希少個体 群保護林	3~4	24.0 (大鳴・英彦山地域)	—	—	—	○	—	・ 植生保護柵設置状況：128m、 5 箇所（4m四方の小規模） ・ 福岡県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）の目標：令和 8 年度末の農林産物被害額 7 千万円以下 ・ 福岡県（耶馬日田英彦山国定公園）指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（R6） 目標頭数：200 捕獲実績：212
7 対馬スダジイ 等遺伝資源	希少個体 群保護林	3	41.7 (対馬市)	—	—	—	○	○	・ 植生保護柵設置状況：1,841m、10箇所（25m、50m 四方） ・ 長崎県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護優先地域） ・ 長崎県指定管理鳥獣捕獲等事業（対馬地区）：H29～継続 R6：具体的な数値は設定なし（可能な限り捕獲圧を高める） ・ 厳原森林事務所捕獲頭数（R6） 委託：7 協定：222
8 内大臣ゴイシ ツバメシジミ	希少個体 群保護林	3	12.5 (熊本市・宇城市・上益城地域（山都町含む）)	—	—	—	—	—	・ 植生保護柵設置状況：171m（金網、線状に 2 箇所） ・ 熊本県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護地域）
9 市房モミ等	希少個体 群保護林	4	21.2 (八代・球磨地域（水上村含む）)	—	—	—	※ 市町村により有害捕獲を実施	○	・ 植生保護柵設置状況：6,000m、60箇所（主に25m 四方） ・ 熊本県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護地域） ・ 水上村鳥獣被害防止計画（R6～R8）の目標捕獲頭数：毎年度1,300頭（捕獲頭数は未公表）
10 市房ゴイシツ バメシジミ	希少個体 群保護林	3	21.2 (八代・球磨地域（水上村含む）)	—	—	—	※ 市町村により有害捕獲を実施	○	・ 植生保護柵設置状況：14,266m、20箇所（ほぼ全域に多数区画による柵設置） ・ 熊本県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護地域） ・ 水上村鳥獣被害防止計画（R6～R8）の目標捕獲頭数：毎年度1,300頭（捕獲実績は未公表）
11 綾	森林生態 系保護地 域	3	23.2 (大淀川山地部)	○	○	—	※ 市町村により有害捕獲を実施	—	・ 植生保護柵設置状況：438m、 4 箇所（四角形 2 箇所と四角に近い多角形 2 箇所） ・ 宮崎県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護優先地域） ・ 綾町鳥獣被害防止計画（R5～R7）の目標捕獲頭数：毎年度300頭（捕獲実績は未公表）

注) 1 生息密度欄の記載は、最新の第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）に記載の数値及び地域。
2 計画及び実施欄の計画の『○』は、H 31年度に決定した重点的対策実施17保護林における計画を表す。
3 「保護林周辺での捕獲計画」とは、ハンターマップ（5 kmメッシュ単位）で見た時に同じメッシュ内に捕獲計画があることを示す。

重点的対策実施 1 7 保護林における柵設置及び捕獲等の計画・実施状況等について

保護林名	保護林種	シカ被害レベル (平均)	生息密度 (頭数/k㎡) (R2年度末推定 値)	令和 7 年度 計画及び実施状況					備 考
				新たな柵設置		保護林周辺での捕獲計画		柵の補修等 の計画	植生保護柵の状況（R7現在）及び シカ捕獲実施機関に関する情報（R6実績）
				計画	実施状況	局署	県指定管理 鳥獣捕獲		
12 大森岳	生物群集 保護林	3~4	23.2 (大淀川山地部)	—	—	—	※ 市町村によ り有害捕獲 を実施	—	・ 植生保護柵設置状況：916m、1 箇所 （線状。目的：シカの山頂への移動の抑制） ・ 宮崎県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護優先地 域） ・ 綾町鳥獣被害防止計画（R5～R7）の目標捕獲頭数： 毎年度300頭（捕獲実績は未公表）
13 御岳ツシマヤ マネコ	希少個体 群保護林	3	41.7 (対馬市)	—	—	○	○	—	・ 長崎県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護優先地 域） ・ 長崎県指定管理鳥獣捕獲等事業（対馬地区）：H29 ～継続 R6年度目標：具体的な数値は設定なし（可能な限り 捕獲圧を高める） ・ 三根森林事務所捕獲頭数（R6） 委託：10、協定：773
14 内大臣モミ等	希少個体 群保護林	3	12.5 (熊本市・宇城・上 益城地域（山都町含 む）)	—	—	—	—	—	・ 熊本県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護地域）
15 市房ツガ等遺 伝資源	希少個体 群保護林	3	21.2 (八代・球磨地域 （水上村含む）)	—	—	—	※ 市町村によ り有害捕獲 を実施	—	・ 熊本県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：5 頭数/k㎡（保護地域） ・ 水上村鳥獣被害防止計画（R6～R8）の目標捕獲頭 数：毎年度1,300頭（捕獲実績は未公表）
16 久木野アカガ シ等遺伝資源	希少個体 群保護林	2	31.5 (芦北地域（水俣市 含む）)	—	—	—	※ 市町村によ り有害捕獲 を実施	—	・ 植生保護柵設置状況：200m、4 箇所（12.5m四方） ・ 熊本県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：0 頭数/k㎡（生息拡大地 域） ・ 水俣市鳥獣被害防止計画（R6～R8）の目標捕獲頭 数：毎年度1,800頭（捕獲実績は未公表）
17 権現岳シオジ 等	希少個体 群保護林	1~2	33.7 (大分県央地域)	—	—	—	— ※R5実施計 画は未公表	—	・ 植生保護柵設置状況：50m、1箇所（12.5m四方） ・ 大分県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4 ～R9）の目標生息密度：県内分布の全域において 3 頭数/k㎡

注) 1 生息密度欄の記載は、最新の第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（R4～R9）に記載の数値及び地域（R2年度推定値）。
2 計画及び実施欄の計画の『○』は、H31年度に決定した重点的対策実施17保護林における計画を表す。
3 「保護林周辺での捕獲計画」とは、ハンターマップ（5 kmメッシュ単位）で見た時に同じメッシュ内に捕獲計画があることを示す。